

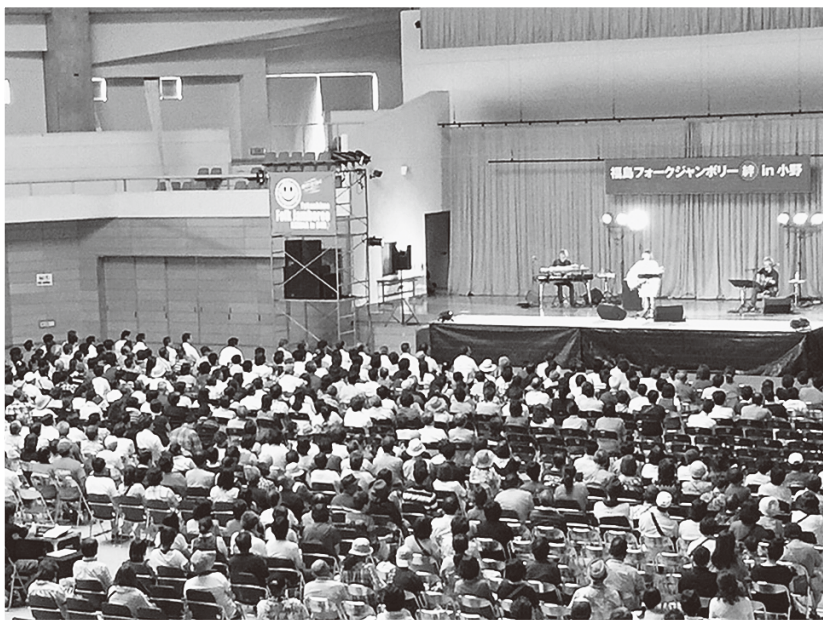


第3回福島フォークジャンボリー絆 in 小野

シンガーソングライター「イルカ」を迎えて

福島フォークジャンボリー実行委員会(櫛田忠夫会長)主催の「第3回福島フォークジャンボリー絆in小野」が「受け継ごう！フォークで笑顔を」のタイトルの下、7月19日に町民体育館や周辺の野外ステージで開かれ、町内外から多くのファンが来場しました。

メインステージや屋外トラックステージでは、県内外から19組のアーティストや小野新町小学校・小野中学校・小野高等学校の吹奏楽部の皆さんが素晴らしい演奏を響かせ、来場された方々に元気を発信しました。



感動に包まれた“イルカ”のライブ

プログラム後半ではシンガーソングライター“イルカ”のスペシャルライブが催されました。楽しいトークや代表曲「なごり雪」を含む数々の名曲の演奏に会場は笑顔と感動に包まれたようでした。

また会場の外では「小町アイスバーガー」などの店が立ち並び、来場された方の舌も満足させていました。

小野町戦没者追悼式

戦没者を偲び恒久平和への誓いを新たに

小野町主催、小野町遺族会共催による平成27年度小野町戦没者追悼式が、7月23日に勤労青少年ホームで開催されました。式典には、戦没者の遺族、議会議員、行政区長、民生委員など約90人が参列しました。

式典では参列者全員で国歌を斉唱し黙とうを行った後、大和田昭町長が「恒久平和を願うとともに、これまで先人達が築き上げてきた歴史、文化、施策を糧としながら、ご遺族をはじめ、町民の皆様とともに、小野町の発展、振興のため全力を尽くします」と式辞を述べました。続いて、来賓を代表して、村上昭正議会議員、櫛田忠夫小野町遺族会会長が追悼の言葉を述べ、参列者一人一人が戦没者を偲び献花をして恒久平和を祈りました。

また遺族を代表して、大和田タカ子さん(中通)から、幼くして戦争で父親を失った体験や平和への思いについてあいさつがありました。



追悼の言葉を述べる櫛田遺族会会長



献花する様子